

平成30年度スタート

より深い学びを通し、次代をリードする人を育てる 探究科・普通科探究コース

探究科

(理数探究科・国際探究科)

山形東高校

酒田東高校

米沢興譲館高校

普通科 探究コース

寒河江高校

長井高校

新庄北高校

平成30年度、県立高校3校に探究科（理数探究科・国際探究科）、そして3校に普通科探究コースを新たに設置します。これは、各教科で学んだ基礎的な知識・技能を活用し、自ら見つけた課題の解決に向けて主体的・協働的に取り組む「探究型学習」に重点を置く学科・コースです。

<ねらい>

- ◆ やまがた創生やグローバル課題の解決などに果敢に挑戦する心を育てます。
- ◆ 社会の変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を育てます。
- ◆ 大学入試制度改革に対応し、高い進路目標を達成できる学力を育てます。



平成29年10月

山形県教育委員会

今なぜ、探究科・探究コースなのか

- ◆ 予測不能な社会の変化（技術革新、グローバル化、人口減少など）
⇒ 今後新たに生じる課題に主体的に取り組むとともに、他者と協力して解決する力を身に付け、郷土やまがたや世界の未来をひらく人材が求められています。
- ◆ 大学入試制度改革（大学入学共通テストの導入、各大学の選抜方法の変更など）
⇒ 現中学3年生が受ける平成32年度の大学入試から、思考力・判断力・表現力を一層重視したテストを導入することや、調査書・志願理由書・面接などで「どのように学んだか」を重視することが検討されています。

探究科・普通科探究コースの特色

1 探究型学習の充実

「総合的な学習の時間」等を増やし、教科の枠を越えた探究型学習を充実させます。

2 高度な探究型学習を支える教科学力の養成

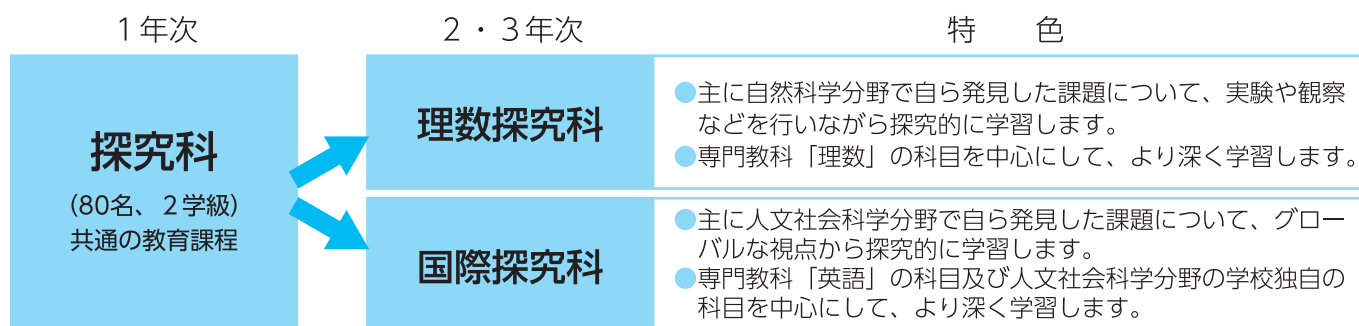
より発展的な内容の専門教科「理数」「英語」の科目（「理数数学」「理数化学」「総合英語」「異文化理解」など）や、学校が独自に設ける科目に、主体的・協働的な学びを取り入れ、総合的な学力を伸ばします。

3 特色ある関連行事等の実施

探究型学習を効果的に進めるため、体験的な学び、交流や発表の機会を提供します。

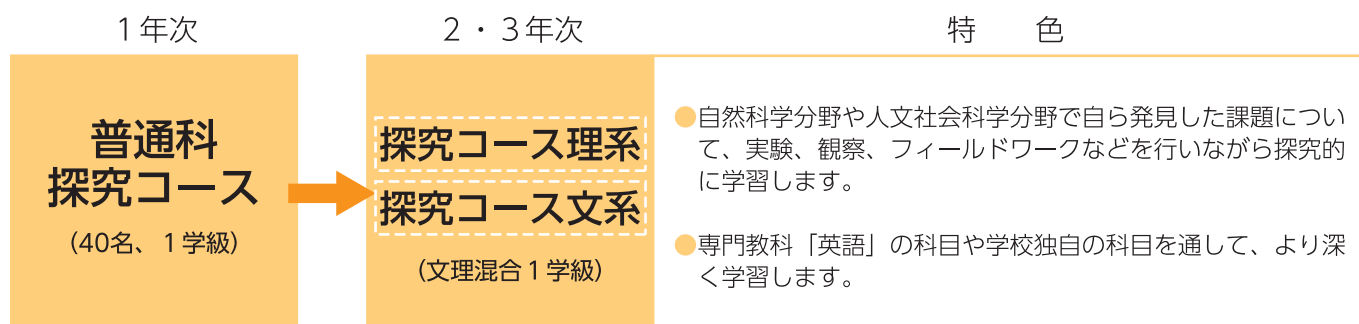
探究科・普通科探究コースの概要

<探究科> 設置校 山形東高校・米沢興譲館高校・酒田東高校



- 探究科は、理数探究科（理数科）と国際探究科（国際科）をあわせた総称です。
- 1年次は探究科全員が共通の教育課程で学び、2年次から理数探究科か国際探究科を選択して学習します。
- より多くの選択科目を設けたり、少人数の授業を取り入れたりしながら、多様な進路希望に対応したきめ細やかな学習指導を行います。

<普通科探究コース> 設置校 寒河江高校・新庄北高校・長井高校



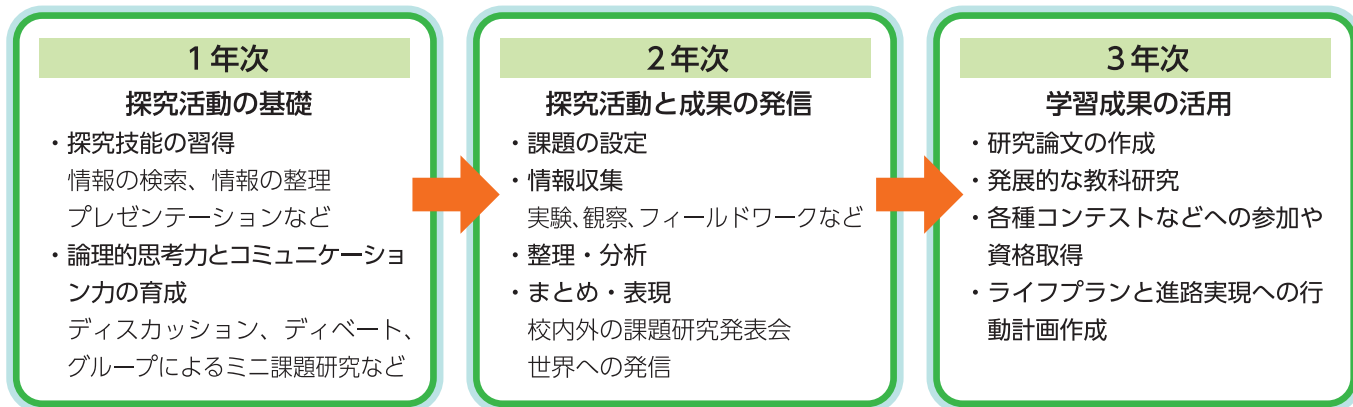
- 1年次から普通科一般コースとは別の教育課程で学び、2年次から探究コース理系か探究コース文系の科目を選択して学習します。
- より多くの選択科目を設けたり、少人数の授業を取り入れたりしながら、多様な進路希望に対応したきめ細やかな学習指導を行います。

探究型学習について

探究型学習とは？

授業や身近な経験の中で自ら見つけた課題について、基礎的な知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に活用しながら、主体的・協働的に解決に取り組む学習です。

探究型学習の流れ(例)



探究型学習の様子



ディベート演習 (寒河江)



研究成果のポスター発表 (長井)



ハイレベル科学実験講座 (米沢興譲館)



大学での研修 (酒田東)



アメリカ研修 (山形東)



地元企業への取材 (新庄北)

探究型学習の例

- ディベート
- ディスカッション
- ジグソー法
- 課題研究 など

特色ある関連行事の例

- 外部講師による講演会
- 先進的な研究所、大学、企業
などでの研修
- 海外研修
- ICTを活用した海外の高校
との交流
- 県教委主催の合同研究発表会
への参加
- 英語による研究成果の発表
- 各種コンテストなどへの参加
- その他の活動

入学者選抜について

募集定員

探究科

設置校：山形東高校・米沢興譲館高校・酒田東高校
各80名（他に普通科各120名、〔山形東は160名〕）

普通科探究コース

設置校：寒河江高校・新庄北高校・長井高校
各40名（他に普通科一般コース各160名）

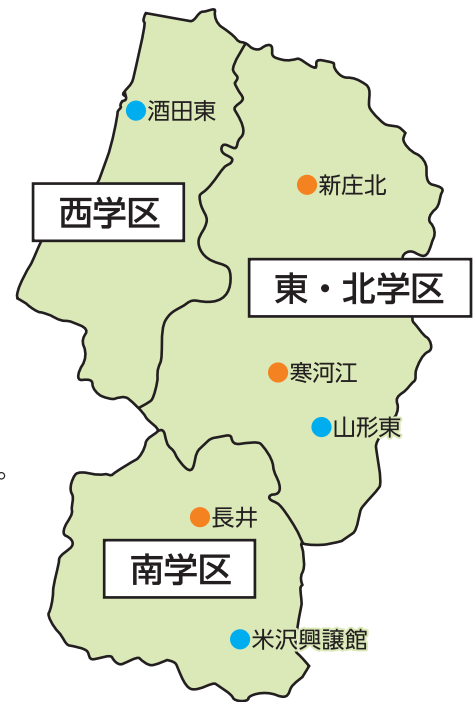
探究科の入学者選抜

<一般入学者選抜>

- 理数探究科と国際探究科を「探究科」として、まとめて募集します。
- 志望する学校の普通科との併願ができます。
ただし、「普通科」を第1志望とした場合、「探究科」を第2志望にすることはできません。
- 学区は東・北学区、南学区、西学区の3区分です。

<推薦入学者選抜>

- 実施しません。



探究科 (●) 探究コース (●) の設置校と学区

普通科探究コースの入学者選抜

- 普通科一般コースとは別に募集しますが、志望する学校の普通科一般コースとの併願ができます。
ただし、「普通科一般コース」を第1志望とした場合、「普通科探究コース」を第2志望にすることはできません。
- 学区は東・北学区、南学区、西学区の3区分です。

Q&A

Q1 探究科（普通科探究コース）の定員が少なく、合格できるか不安です。

A1 志望する学校の普通科（普通科一般コース）との併願が可能です。高い目標を持って積極的に出願してください。探究科（普通科探究コース）に合格できなかった場合でも、普通科（普通科一般コース）を第1志望としている受検生と、第2志望としている受検生は同等に選抜します。

Q2 探究科では入学時に理数探究科か国際探究科を選ぶ必要がありますか。また、希望する学科を選択して学ぶことができますか。

A2 探究科では80名をまとめて募集し、1年次は共通の教育課程で学ぶため、入学時に理数探究科か国際探究科のいずれかを選択をする必要はありません。2年次からどちらかの学科を選択して学ぶことができます。

Q3 探究科（普通科探究コース）では、探究型学習に多くの時間が割かれることで、大学入試に不利になるのではないですか。

A3 大学入学共通テストが平成32年度の入試から導入される予定です。また、各大学の入試でも、調査書・志願理由書・面接など「何を学んだか」だけでなく「どのように学んだか」も重視する選抜方法が検討されています。探究科（普通科探究コース）では、発展的な探究型学習を通して思考力・判断力・表現力や主体的・協働的に学ぶ姿勢を育てるとともに、専門教科「理数」、「英語」の科目や学校独自の科目を設けるなど、より高い学力を養成しますので、これからの大学入試に、より適した学科・コースです。

【問い合わせ】 山形県教育庁高校教育課
電話023-630-3026 Fax023-630-2774